

社会科（食育）学習指導案

第6学年 33名 平成28年11月18日（金）

1 単元名 平和で豊かな暮らしを目指して

2 単元設定の理由

(1) 児童の実態と培いたい資質・能力について

本学級の児童は、歴史上の人物と歴史的事象とのつながりを意識して学び、自分たちの今の生活の様子や考え方と比較しながら学習を進めてきた。一人調べでたくさんの情報を集め、班活動では、話し合いながら情報の整理・分析をしてきた。しかし、まとめの段階に入ると、情報の切り貼りになってしまい、知識として身に付いてはいても、自分の言葉としてまとめる力はまだ十分ではないと感じる。

本単元では戦後間もないころの人々の思いや願いを想像し、人々の不断の努力によって、現在の平和で民主的な日本が築かれてきたことをとらえさせたい。また、歴史学習が、歴史上の人物の活躍から各個人の行動や活躍に移り、より自分の生活や願いとの比較がしやすくなることから、歴史的事象を自分の言葉で整理し、まとめられる力を培いたい。

(2) 教材について

戦後しばらく、日本は損傷が激しかった。人々は、先の見えない苦しい生活を送らざるを得なかった。そのような暮らしの中でも、人々は強く生き、日本を平和な国家に変えるために、憲法の制定や様々な改革を行ってきた。国際社会に貢献する役割を真摯に担ってきた日本は、信頼を得て、国際連合への加盟を果たす。そして、オリンピックを開催できるまでに至った。その背景には、国民一人ひとりの不断の努力とそれを支えた平和への強い願いがあったことも忘れてはならない。その願いが、奇跡の復興とも呼ばれる高度経済成長をも、なし得たのである。公害問題という陰の部分も出現したが、それを克服してきた実績もある。民主主義国家として再出発した日本の姿を、日本国憲法と民主的な様々な改革を中心に調べていくことで、現在の生活にもつながっていることが理解できる教材である。

現在も周辺諸国や関係国との間で、様々な課題が残っている。それらを調べるとともに、国際社会における現在の日本の役割なども調べ、世界の平和を目指してともに発展していくためには、各国がどのような関係を築いていけばよいかを考えることができる教材でもある。

(3) 教師の手立てについて

終戦直後の写真と復興後の写真を比較し、その差に気付かせることで、学習への意欲を高めさせたい。また、高度経済成長期の様々な資料を提示して、国民の不断の努力によって生活が向上し、国際社会の中でも重要な役割を果たしてきたことをとらえさせたい。

(4) 学習評価について

学習問題の解決に向けて、戦後の復興について一人調べやグループ学習で記入した学習ノートを振り返る場を設定する。調べた内容や得た知識をまとめ評価する。また、単元のまとめでは新聞を作ることで、単元を通した自らの学びを確かめさせる。

(5) 主題との関連

戦後間もないころの食事に対する思いは、「楽しく食べる」「おいしく食べる」というよりも、「明日を生きるために食べる」意味合いが強かったであろう。「季節を感じながら」「栄養バランスを考えて」食べられる現代の食生活は豊かである。それだけに、当時の人々の食に対する思いに触れ、想像し、自身の食生活を振り返る活動は、望ましい食習慣を身につけ、心身ともに健康な生活を送ろうとする児童の育成につながると思う。

3 単元目標

戦後、平和な国づくりのために数々の改革が行われ、復興・発展をとげてきた様子や、今も残る外交上の様々な課題を理解し、これからの平和な社会の維持・発展に向けて、自分なりの考えをもつことができるようにする。

4 単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	戦後の復興の過程や諸外国との関係、人々の願いについて関心を持ち、積極的に調べようとしている。
社会的な思考・判断・表現	戦後の平和で民主的な国づくりと国民生活の変化について学習問題を見い出して調べ、戦前の様子と比較したり、変化の背景を考えたりしながら、適切に表現している。
観察・資料活用の技能	聞き取った話や集めた資料から、調べたことを付せんなどで整理・分類してまとめている。
社会的事象についての知識・理解	戦後、我が国は憲法を制定し、民主的な国家として出発したことや、戦後は国民の不断の努力によって生活が向上し、国際社会で重要な役割を果たしてきたことを理解している。

5 食育の視点

○戦後の食生活について学ぶことを通して、毎日食事ができるありがたさを感じ、食事の重要性を理解する。〈食の重要性〉

○戦後の食生活の変化に気付かせ、食事ができるということに感謝の気持ちをもつ。〈感謝の心〉

6 知識の構造図

【学習指導要領との関連】

○第6学年の目標（1）

国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。

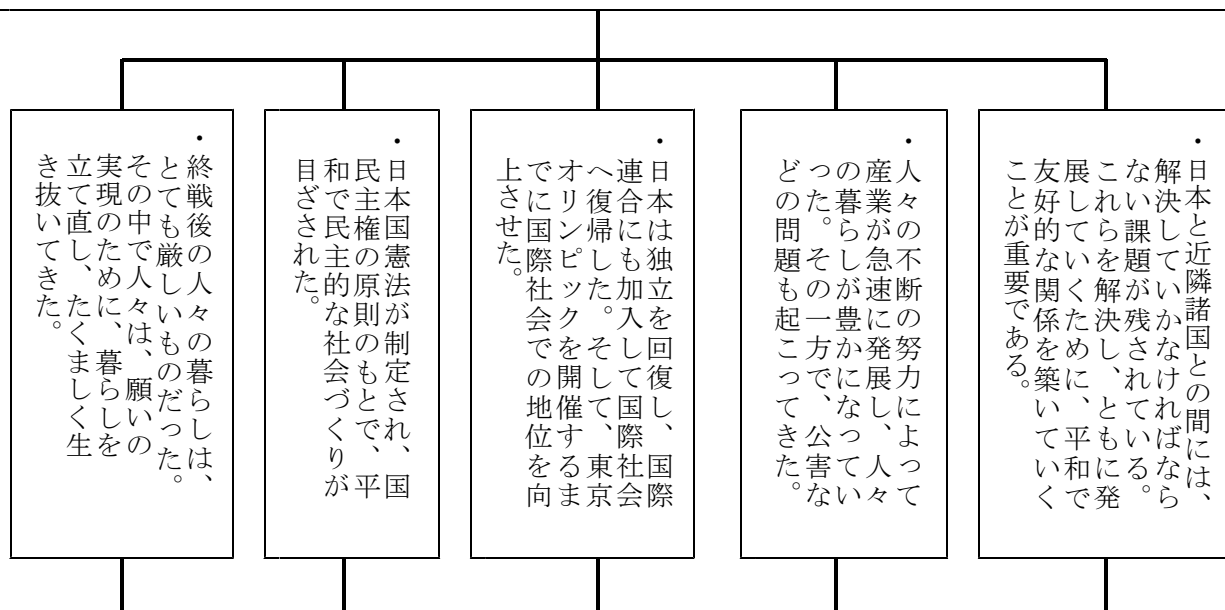
○内容（1）

我が国の歴史上の主な事象について、人物の働きや代表的な文化遺産を中心に遺跡や文化財、資料などを活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えるようにするとともに、自分たちの生活の歴史的背景、我が国の歴史や先人の働きについて理解と関心を深めるようにする。

ケ 日華事変、我が国に関わる第二次世界大戦後、日本国憲法の制定、オリンピックなどの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。

【中心概念】

戦後、日本は平和で民主的な国づくりに取り組み、国際社会からの信頼を回復した。国民生活も豊かになり、国際社会において重要な役割を果たしてきた。



・青空教室 ・戦災孤児 ・買い出し列車 ・給食再開	・日本国憲法 ・国民権 ・基本的人権の尊重 ・平和主義（戦争放棄） ・普通選挙法 ・女性の選挙権 ・教育の民主化 ・その他戦後の諸改革	・サンフランシスコ平和条約 ・調印 ・日米安全保障条約 ・国際連合への加盟 ・東京オリンピック	・新幹線や高速道路の整備 ・高度経済成長 ・集団就職 ・電気製品の普及 ・世界有数の工業国 ・四大公害病	・韓国との関係 ・北朝鮮との関係 ・ロシアとの関係 ・アメリカとの関係
--	--	---	---	--

7 指導計画（全9時間）

段階	活動と評価	予想される子どもの反応	指導・支援
課題 つかむ （ 本 時 2 ／ 2 ）	終戦間もないころの人々は、どのような暮らしをし、何を願っていたのだろうか。		
	①終戦間もないころの暮らしの様子が分かる写真資料から、人々の願いを想像する。 ◆終戦間もないころの暮らしの様子や人々の願いに関心をもち想像しようとしている。（関）	・机がない。 ・外で勉強なんてできるの。 ・笑っている子がいるよ。 ・不安そうな顔をしてるよ。 ・がれきの中で、はだしだね。 ・すごい荷物だね。 ・どんな食べ物が手に入ったのかな。	○「青空教室」や「戦災孤児」などの写真資料を提示し、終戦間もないころの暮らしの様子や人々の願いを想像させ、興味を高める。 ○「買い出し列車」や「給食再開」などの写真資料と今の自分たちの生活とを比較して、より深く人々の願いを考えることができるようにする。
	②終戦間もないころの暮らしの様子に気付く、人々の願いを考える。 ◆学習問題をつかむことができる。（関）	・二度と戦争はいやだ。 ・食べられることができてうれしい。	
調予 べ想 方を	③自分の予想について調べる観点を整理する。 ◆学習問題を設定することができる。（関）	・どんな国になってほしいと願ったのかな。 ・目指す世の中を実現するために、どんなことをやってきたのだろう。	○当時の人々の思いや願いも考えることができるようにする。

を立 決て める る		・教科書や資料集で調べよう。	
	戦後、人々は何を目ざし、どのようにして新しい社会を築いてきたのだろうか。		
（ ひ ぐ と ル り ー で プ 調 べ る	④日本国憲法や戦後の様々な改革について調べ、それらによって何が変わったのか、戦前と比較しながら見つける。 ◆民主的な国づくりについて考えている。 (知)	・新しい憲法がつくられた。 ・男女に平等な選挙権が認められたね。 ・戦争が放棄されたね。 ・民主主義的な考え方に基づいて、社会の仕組みが作られたようだよ。	○「日本国憲法」と「大日本帝国憲法」を比較させる。 ○「投票する女性」の写真や戦後改革の資料を提示し、民主的な変化について調べられるようにする。
	⑤独立を回復し、国際社会に復帰を果たすまでの出来事の流れや、「東京オリンピック」が開催されたころの日本の様子を調べる。 ◆オリンピック開催について考え、当時の人々の復興に向けた気持ちの高まりを想像する。 (知)(思)	・1951年の平和条約で日本は独立を回復したよ。 ・日米安全保障条約が結ばれたよ。 ・国際連合の加盟も認められたんだ。 ・アジアで初めてのオリンピックが日本で開催されたよ。	○「東京オリンピック」の写真などを提示することによって、国際社会で認められてきたことについて調べられるようにする。
	⑥高度経済成長の様子や人人の暮らしの変化、日本で起きた社会問題などについて調べる。 ◆高度経済成長の様子について調べ、その結果、社会や人々の暮らしがどのように変化していたのかを理解できる。 (技)(知)	・新幹線が開通し、高速道路が整備されたよ。 ・電気製品が普及し、暮らしが便利で楽しくなったね。 ・生活が便利になった一方で、公害などの問題が起こったよ。	○写真やグラフ資料を提示することで、多くの国民の不断の努力によって、国民生活が便利で豊かになってきたことに気付かせるとともに、当時の社会問題にも目を向けさせる。
	⑦諸外国との間で残された、解決しなければならない	・北方領土の問題は、まだ未解決だよ。	○新聞などのタイムリーな資料を提示して、な

（ ひグ とル りー でプ 調～ べる	課題をとらえ，平和な世界を目ざしてともに歩んでいくためには，それらの国々とどのように関わっていけばよいかを考える。 ◆残された課題について考えている。 （知）（思）	・アメリカ軍基地は，そのあり方が問題になっているよ。 ・北朝鮮拉致問題は，知っているよ。 ・周辺諸国との間には，まだまだ課題が残されているね。	お多くの課題が残されていることに気付くことができるようにする。
確み かん めな るで （ 問 い 直 し ）	なぜ，敗戦から20年あまりで，オリンピックを開催できるまでの国になれだろう。		
	⑧憲法や戦後の様々な改革について調べたことを話し合い，短期間で国際社会において重要な役割を担うまでの国に成長したことについて理解できるようにする。 ◆オリンピックが開催されたことを多角的にとらえられている。（思）	・20年あまりで，オリンピックが開催できるなんて，本当に，奇跡の復興だね。 ・国民一人ひとりが，平和で民主的な国づくりを強く望んでがんばったんだね。 ・オリンピックの成功なども，国際社会から信頼されたというのが大きいよね。	○憲法や戦後の様々な改革について調べ整理していく中で，人々の願いや不断の努力に目を向けさせる。
広 げ 深 め る	⑨これからの日本の国づくりについて，新聞にまとめる。 ◆平和で民主的な国づくりについて，ふさわしい内容が書けている。（思）	・自分たちには，何ができるのだろうか。	○アジアの国々との関係や平和で民主的な国づくりについて，自分なりの意見をもつことができるようにする。

8 本 時

(1) 目 標

終戦間もないころの食生活を知り，当時の人々の暮らしの様子や願いを考えることができる。

(2) 展 開

主な活動内容と活動	指導上の留意点	評価規準 (評価方法)
終戦間もないころの人々は、どのような暮らしをし、何を願っていたのだろうか。		
1 「買い出し列車」の写真を見て、終戦間もないころの暮らしの様子や、人々の願いを想像する。 2 当時食べられていた大根飯を試食したり、当時の様子を綴ってもらった手紙の語りを聴いたりして、終戦間もないころの食生活について理解を深める。 3 「給食再開」の写真から、食生活の様子を中心に、当時の人々の暮らしの様子や願いについて話し合う。 4 本時のまとめをし、食生活の変化から、戦後復興について学習していく意欲をもつ。	・生きていくためには食べる必要があることに気付かせる。 ・大根飯を試食させながら、当時の食生活や食事情を伝えることで、当時の人々の暮らしぶりや思いを想像しやすくする。 ・事前にとったアンケート結果などを提示して、自分たちの食事に対する考え方を振り返らせる。 ・戦後復興についての学習問題設定への意欲付けをする。	終戦間もないころの様子を意欲的に読み取ろうとし、人々の願いを考え、当時の人々の思いに共感する。 (観察・発言) 自分なりの意見を、理由や根拠をもとに発表できる。 (発表)

(3) 評価及び指導の例

「十分満足できる」と判断される状況	自分たちの生活と終戦間もないころの生活の様子を比較し、当時の人々の願いを継承するためにはどのような生活を送ればいいのか、自分なりの考えをもつことができる。
「おおむね満足できる」状況を実現するための指導	写真資料を提示したり、グループ活動などを取り入れたりして、終戦間もないころの暮らしの様子や当時の人々の願いを想像させ、個々の児童が自分なりの考えをもてるようにする。

